



2018年3月期 第3四半期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。



- 2018年3月期 第3四半期決算レビュー
- 2018年3月期 経営方針
- 2018年3月期 第3四半期主要事業進捗
- 2018年3月期 通期業績見通し



2018年3月期 第3四半期決算レビュー



創業来18期連続となる過去最高売上高に向けて期初計画通り好調に推移

「第4次産業革命」の中心的な役割を果たす企業となるため、AI・IoT・Robot分野の研究開発に最大、経常利益がマイナスにならない範囲の積極的投資を継続実施中

(単位：百万円)

	2017年3月期 第3四半期 実績	2018年3月期 第3四半期 実績	実績 前年比	2018年3月期 通期予想
売上高	2,311	2,811	21.6%	4,000
営業利益	458	240	△47.5%	1~800
経常利益	454	238	△47.5%	1~800
純利益	236	119	△49.3%	0.62~496

前回計画より
変更なし



■ 売上成長率及び利益率について

- ・ 当社の売り上げ構成は、ストック型のライセンス収入とフロー型のカスタマイズ収入に分かれており、その構成比は、大凡、ライセンス収入：カスタマイズ収入＝8：2となっております。
- ・ 第3四半期までの累計売上高実績として、前年同期比で見ますと21.6%増となっております。第2四半期までの累計売上高実績に比して8ポイント改善されております。これはストック型のライセンス収入が130%近い成長率を示しており、順調に積み上がっている結果です。また、フロー収入についても計画通りに推移しており、着地数値への影響はありません。
- ・ 営業利益実績として、前年同期比で47.5%減となっております。これは、戦略的に開発投資に注力するという期初からの計画通りであり、順調に開発人員（工数）の確保が進んでいること及び展示会への積極的な出展によるプロモーション活動への投資の結果であります。引き続き、第4次産業革命において中心的な役割を担える企業となるべく、開発投資に注力してまいります。



2018年3月期 経営方針



「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるため、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において、研究開発への積極投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための、足掛かりとなる1年とする

具体的には、ここ数年取り組んできた、各業界・産業とITを融合させる「〇〇×IT」によりITの力で業界・産業基盤を再構築する取り組みを推進していく

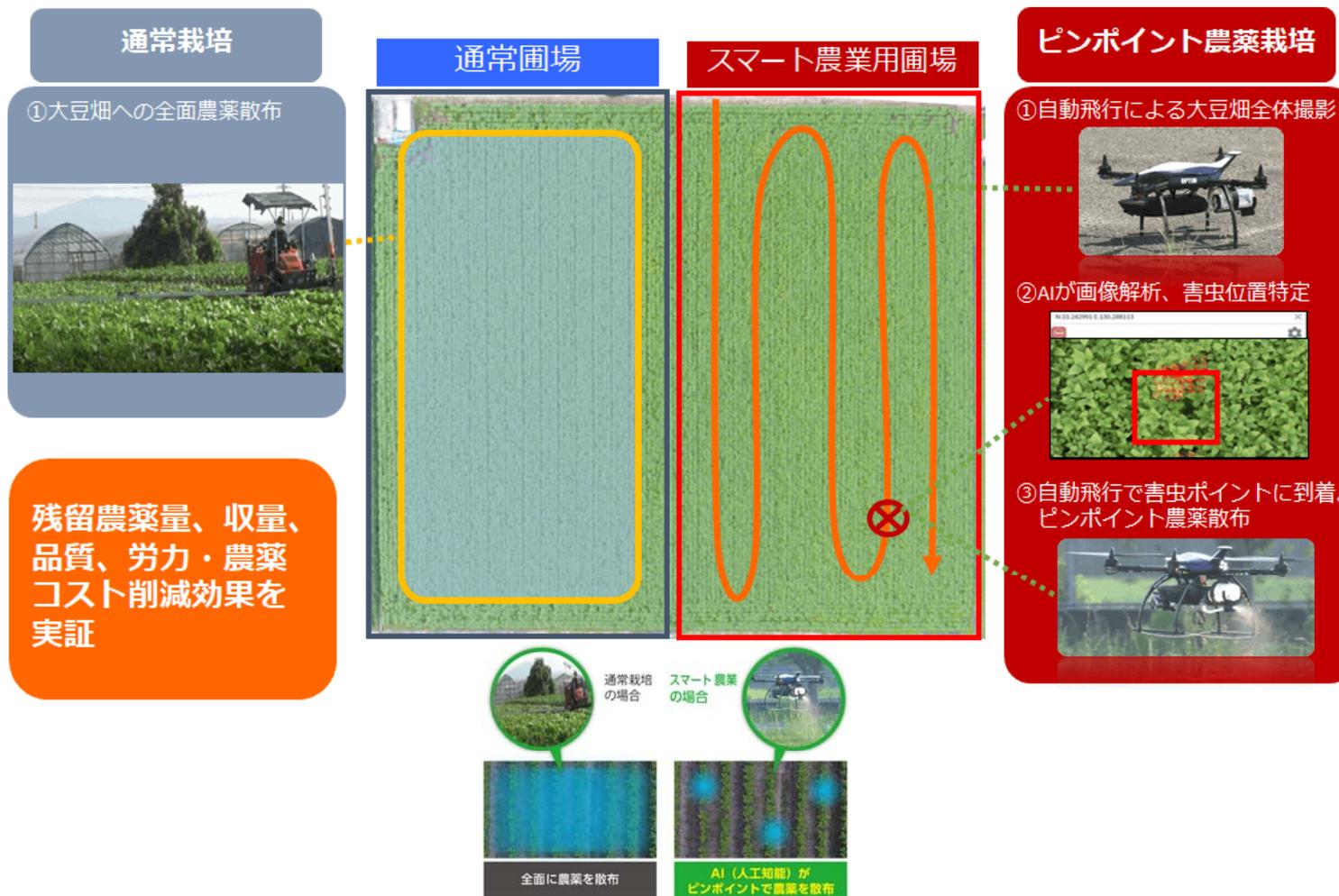


2018年3月期 第3四半期主要事業実績



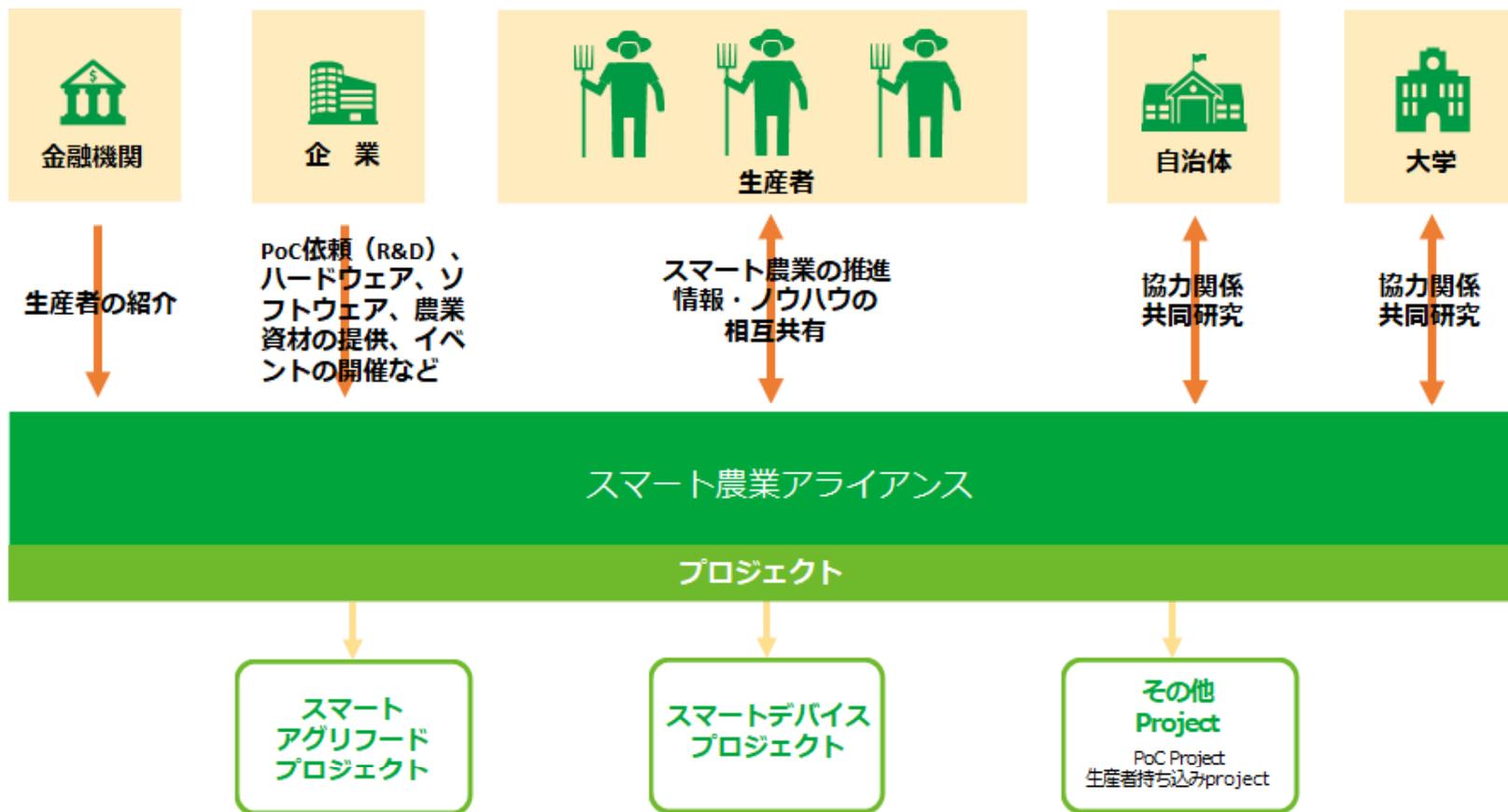
新サービス
「OPTiM Cloud IoT OS」
～ 「OOxIT」 ～

世界初、AI・IoT・ドローンを活用した ピンポイント農薬散布テクノロジーによる大豆の栽培に成功



農薬使用量1/10以下、残留農薬不検出、収量品質同等を実現

生産者を中心とした、「スマート農業アライアンス」を設立 参加者・参加企業を募集開始



ドローンやAIなどのスマート農業ソリューションの無償提供、
収穫物の全量買取で生産者と収益分配

「スマート農業アライアンス」へ、 株式会社みちのく銀行と青森県内の農業者3社が新たに参画



スマート農業を活用するための
具体的なノウハウ、データを共
有する



スマート農業により栽培された
農作物の販売手法に関する研究



スマート農業を始める為のサポ
ートを行う(販売など)

スマート農業を実現する熱い未来志向の農家が、
様々なプロジェクトを通じて
「楽しく、かっこよく、稼げる農業」を実現するためのアライアンス

全国の地銀として初参画「みちのく銀行」、本州最北端のワイン農園「サンマモルワイナリー」、モンドセレク
ション受賞・GGAP取得圃場で黒にんにくを生産「松山ハーブ農園」、青天の霹靂プレミアム生産「アグリー
ンハート」が新参画

オプティムと佐賀銀行、AI・IoT・ブロックチェーン技術を活用した取り組みを推進すべく、「金融×IT 戦略的包括提携」を締結

金融 × IT

戦略的包括提携

 佐賀銀行 

FinTechを含んだ「金融×IT」分野において、AI・IoT・ブロックチェーン技術などを活用した取り組みを推進して行くことを目的として、「金融×IT 戦略的包括提携」を締結。今後両社により、銀行業務の効率化を実現するソリューションや、地域の顧客へ貢献するソリューションを創出し、全国の地方銀行が課題として抱える問題を解決していく。

オプティムとみちのく銀行、AI・IoT戦略的包括提携を締結

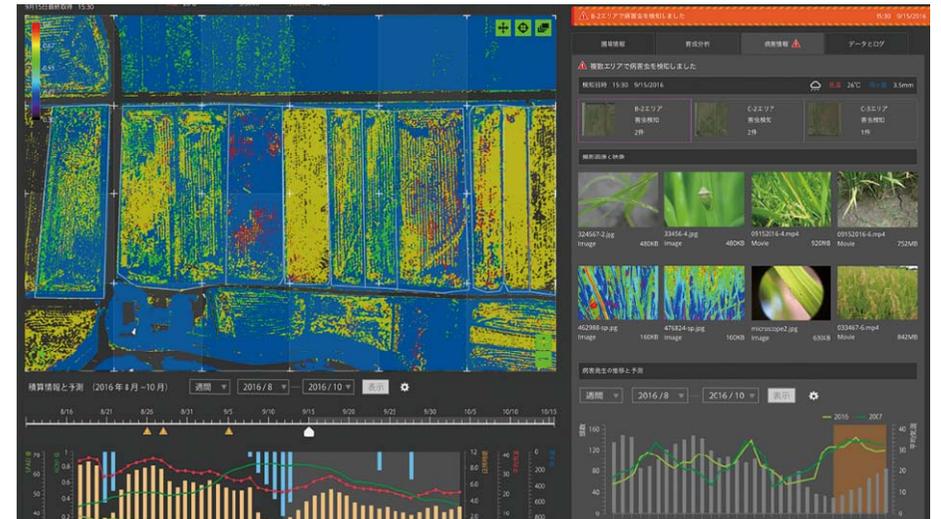


地方銀行におけるAI・IoTの活用や、
スマート農業の普及、地域産業のAI・IoT化を推進

オプティムと地域金融機関が「金融x農業xIT戦略的包括提携」を締結するのは東北初



ドローンをはじめとするスマート農業ソリューションを活用した実証実験を帯広で開始



オプティムとソフトバンクは、ドローンをはじめとするスマート農業ソリューションを活用した実証実験を共同で開始。帯広市清川エリアでは、固定翼「OPTiM Hawk」を活用した広範囲な空撮による地域全体の生育分析を実施。帯広市清川町火ノ川農場では、圃場の状態を圃場情報管理サービス「Agri Manager」・農作業記録サービス「Agri Assistant」を用いて作物生育管理に取り組む。



Cloud IoT Platform

LANDLOG



KOMAT'SU

OPTiM

docomo

SAP

2017/10/5 株式会社ランドログ設立！



<http://www.landlog.info/>



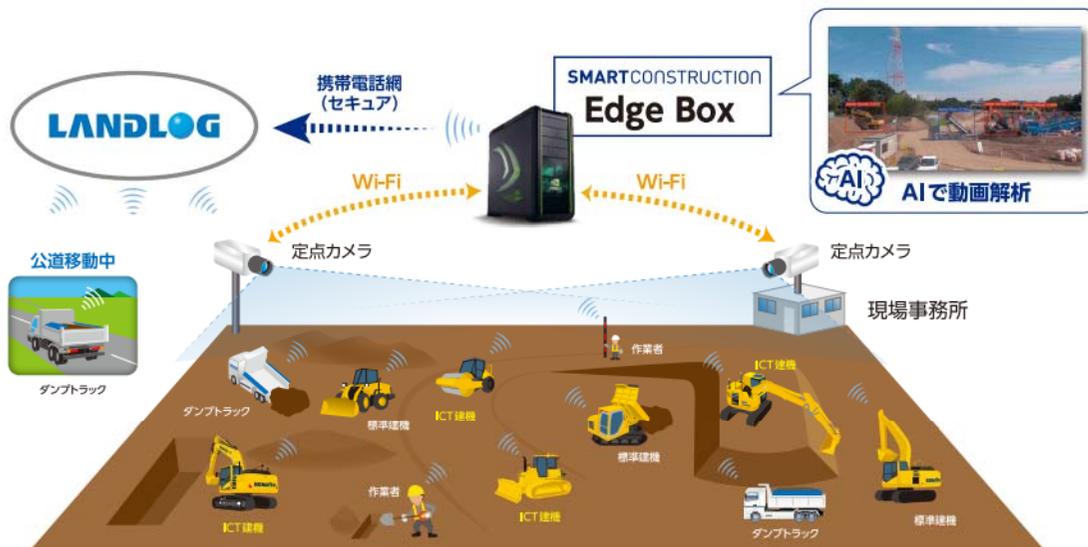
事業内容：

建設生産プロセスに関する各種データ等の収集、編集及び蓄積等を行うプラットフォームの企画、開発、運用、及び事業化
建設生産プロセスに関する各種データ等の生成、解析及び蓄積等を行うデータ生成システムの企画、開発、運用及び事業化

日々カメラ ～ リアルタイム動画解析による新しい施工管理を発表

Edge コンピューティングを用いた“日々”カメラ

現場のカメラ動画から建機や車両、人の動きを自動解析し、そこで起こっている「コト」を記録します。



リアルタイム動画解析による施工管理例

×月×日 作業状況	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
油圧ショベル A	ICT	法面成形				法面成形					
油圧ショベル B	ICT	溝掘削		積込							
油圧ショベル C			法面成形				掘削積込				
ブルドーザ A	ICT	掘削・押土	整地								
ホイールローダ A							積				
振動ローラ A	ICT						締固め				
クローラダンプ A			積込・搬送								
ダンプ A							積込・搬送				
ダンプ B									積込・搬送		
ダンプ C					公道移動中		積込・搬送				
作業員 A		資材移動					整地補助				
作業員 B			検査測量						検査測量		





既存サービス

MDM・PC管理サービス「Optimal Biz」、 調査会社3社から国内EMM市場シェアNo.1の評価



調査会社3社から
国内EMM市場シェア

No.1



富士キメラ総研刊の調査資料において、
2016年度国内EMM市場でシェアNo.1を獲得



2016年度国内
EMM市場シェア

No.1

を獲得



ミック経済研究所発刊の調査レポートにおいて、
2016年度国内EMM市場でシェアNo.1を獲得



国内EMMソリューション
市場売上額シェア

No.1

を獲得

IDC Japan調査の2016年国内EMMソ
リューション市場売上額シェアにてNo.1を
獲得



その他サービス：タブホ / 800種類以上の人気雑誌が読み放題に！

人気雑誌読み放題サービス「タブホ」、 生活便利マガジン「オレンジページ」を提供開始

株式会社オレンジページより

オレンジページ

を追加

人気雑誌 **800**誌以上が読み放題 **タブホ**

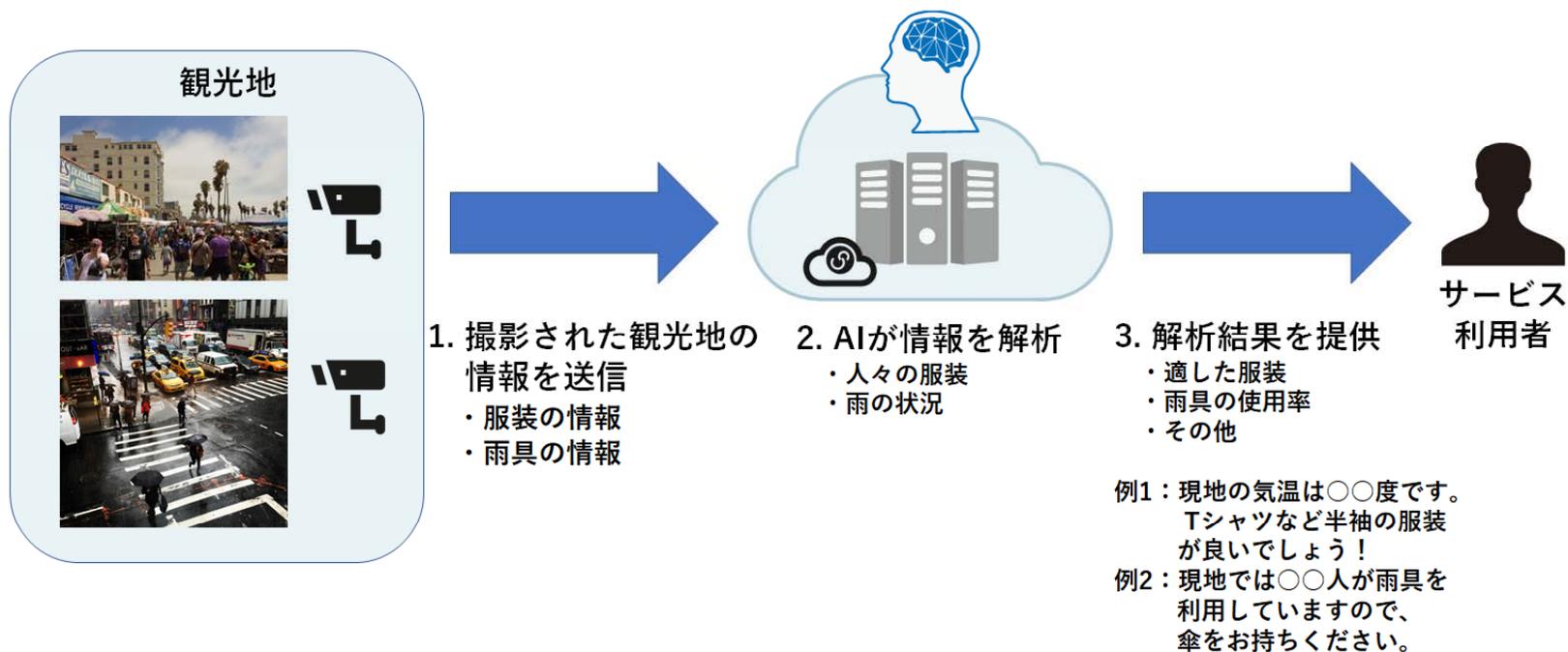
人気雑誌読み放題 **タブホ**

500円で**800**誌以上
すべて読み放題

BAIT 佐賀

「タブホ」とは、「いつでも、どこでも、気軽に」をコンセプトとし、国内最大級となる800誌以上の人気雑誌がフルコンテンツで読み放題となるサービスです。雑誌ラインナップは経済情報、芸能・エンタメ、ファッション、食、生活情報、旅行、スポーツなど、ビジネスから趣味まで幅広くお楽しみいただけます。

画像解析し、雨具の必要性や気候に対して適切な服装の情報を提供するAIの特許を取得



旅行業界や自治体などが旅行者に対して観光地の情報を発信するといったプロモーションに活用したり、電車や飛行機、船舶、バスなど運輸業界において、乗客向けに目的地の情報を発信するといったサービスを提供したりすることが可能に。



2018年3月期 通期業績見通し



(単位：百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前年比
売上高	3,314	4,000	120.7%
営業利益	685	1~800	-99.9%~116.8%
経常利益	682	1~800	-99.9%~117.3%
純利益	397	0.62~496	-99.8%~124.7%

- 2018年3月期の業績は、創業来18期連続となる過去最高売上高を目指します。既存サービスの安定した成長による、売上40億（前年比売上高120.7%）は達成可能な見通しです。
- 「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるため、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において積極的な開発投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための、足掛かりとなる1年としていきます。
- 売上、利益ともに新規サービスの受注により拡大の可能性を残しております。なお、計画値と乖離が生じた場合には、速やかに開示します。
- ただし、「第4次産業革命」に向けた事業展開を行う中、更なる事業機会を発見した場合には、計画値にとらわれず大型な投資も行い、速やかに開示します。

OPTiM

www.optim.co.jp

OPTIM